

フランジ型タンク内のSr処理水の水抜き完了について

2018年11月29日



東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

フランジ型タンク内のSr処理水の水抜き完了について



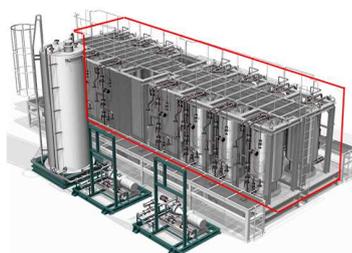
- フランジ型タンク内のSr処理水の浄化処理は2018年11月17日に完了。
- 今後、建屋滞留水の水位を低下させると共に、フランジ型タンク内のALPS処理水等を溶接型タンクへ移送し、フランジ型タンクからの漏えいリスクを低減する。（ALPS処理水移送完了時期：2019年3月頃）



Sr処理水タンク
(フランジ型タンク)
水抜き・解体

放射能濃度 中
漏えいリスク 高

Sr処理水



多核種除去設備 (ALPS)

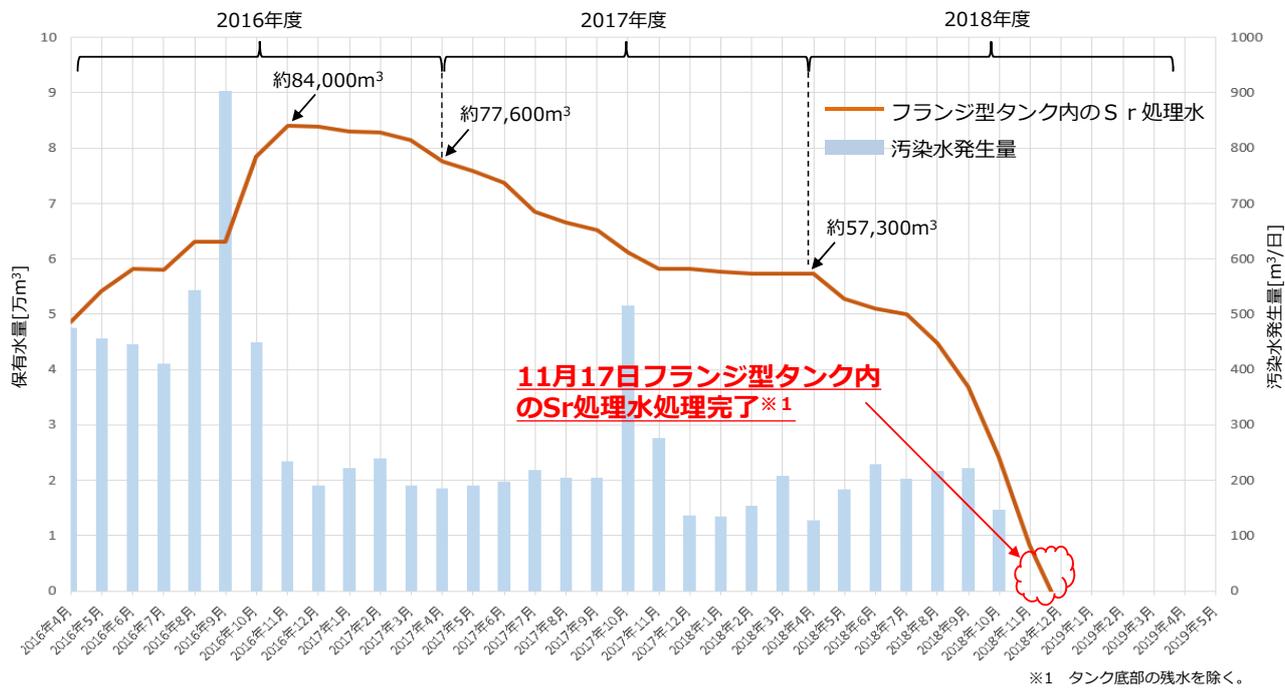
ALPS処理水



ALPS処理水タンク
(溶接タンク)
新設・リプレース

放射能濃度 低
漏えいリスク 低

- フランジ型タンクで貯留していたSr処理水及び汚染水発生量の変遷は以下の通り。
- フランジ型タンク内のSr処理水：2018年11月17日完了（最大貯留量は約84,000m³：2016年11月）



フランジ型タンクエリア図

